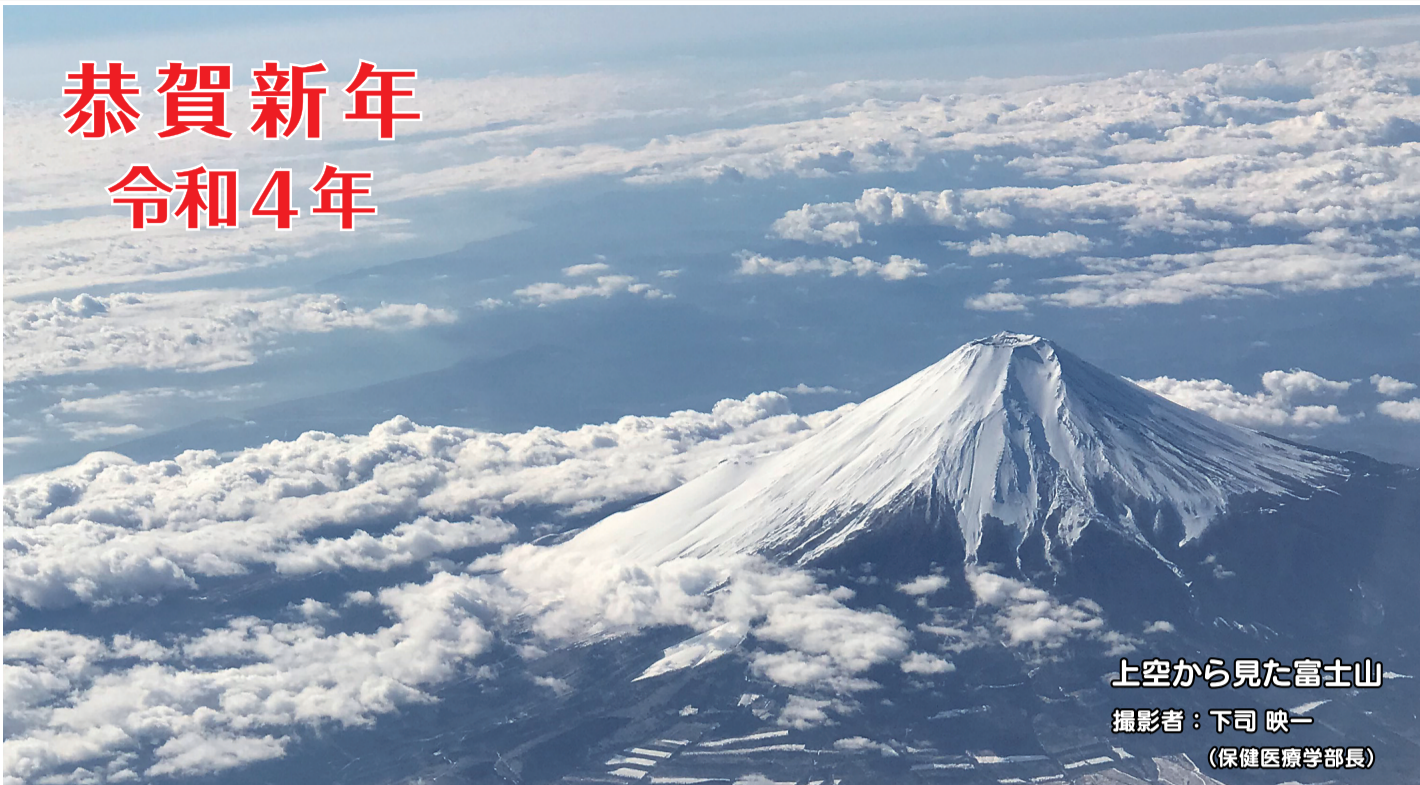


恭賀新年 令和4年



上空から見た富士山

撮影者：下司 映一
(保健医療学部長)



学校法人 昭和大学
発行人 小口勝司
電話 (3784) 8000 〒142-8555
東京都品川区旗の台1の5の8
1部 50円 毎月1回発行

年頭のご挨拶



昭和大学 学長
久光 正

明けましておめでとうございます。
新型コロナウイルス感染は昨年も猛威を振るいました。本学では昨年3月から順次、医療従事者、職員、学生にワクチン接種を行い、大学関係者間の感染を極力抑えることができました。1年生は富士吉田での寮生活があるため、特に感染予防を徹底し、また6月にはワクチン接種を施行しました。その結果、富士吉田キャンパスでは1人の感染者も出さずに全カリキュラムを終えることができました。これは寮運営の大きな自信となりました。全学年の教育についても、授業は必要に応じてオンラインを活用し、ほとんどの実習も予定通り行うことが出来ました。クラブ活動も昨年後半から再開し、多くの学生が充実した日々を取り戻しつつあります。

昭和大学では本年度入試から地域別選抜入試を廃止し、新たに総合型選抜入試を歯学部、薬学部、保健医療学部で、また卒業生推薦入試を4学部で導入しました。一定の学力を担保した受験生の中から、本学の建学の精神を受け継ぎ、医療人として活躍が期待できる若者に入学していただくことを主眼としました。いずれの入試においても素晴らしい新入生を獲得できました。今後の活躍に期待しています。

昨年、昭和大学は日本高等教育評価機構による認証評価を受審しました。7年ごとに更新するもので、昭和大学の学則、各種規程、現在の大学運営との整合性、教育内容・方法・評価の適正性など多方面から評価されます。最終評価は今春に通達されます。必要な改善は速やかに実行し、昭和大学の発展につなげる所存です。また、昭和大学病院では病院機能評価機構による機能評価が行われました。コロナ禍で大学病院の機能が大きく影響されましたが、コロナ患者の受入れ、救急医療の積極的実施など高く評価されました。大学病院発展の大きな励みになりました。

令和4年、皆様のご健勝、ご活躍を祈念し、年頭のご挨拶といたします。



学校法人 昭和大学
理事長
小口勝司

新年おめでとうございます。本年も皆様にとりまして佳き年でありますことを祈念いたします。

先ず、未だ収束を見ないコロナ禍において、諸々の対応にあたられている医療現場の方々をはじめ関係各位に敬意と感謝を申し上げます。

昨年は3月に富士吉田キャンパス再整備計画の初期工事となる女子学生寮「百合寮」、6月には旗の台キャンパスに昭和大学教育研修棟が竣工しました。同施設内には教育推進室、リカレントカレッジ事務室、認定看護師教育センター事務局を設置し、チーム医療の総合的な学修を行うシミュレーション教育等も行ってまいります。本学の医療人教育ならびに社会人の知の探究と教育研究活動の新たな拠点とし活性化を図りました。

また、夏には57年ぶりに東京で開催された第32回オリンピック競技大会、第16回パラリンピック競技大会に、本学の職員95名と学生16名がメディカルスタッフ・学生ボランティアとして参画いたしました。

本法人では、平成29年1月「医師の働き方改革」を宣し、附属病院における教育、研究、診療の活性化をはかる為のシフト勤務制、変形労働時間制の導入をはじめ医療を取り巻く文化の改革に取り組んで参りました。厚生労働省より発出され令和6年度から適用される医師の時間外労働の上限規制に対応し、持続可能な医療提供体制を整備すべく職員の適切な労務管理を継続して実施いたします。

研究活動では、既存の附置4研究所に加え、富士山麓自然・生物研究所と臨床ゲノム研究所の開設準備を開始しました。それぞれの特色を生かし昭和大学における研究の一層の進展を目指し充実を図ります。

大学や病院を取り巻く環境が厳しくなる社会情勢ではありますが、創立100周年に向けた重要な1年であり、さらなる教育・研究・診療の質の向上のために邁進します。

本年も皆様には、より一層のご理解とご協力を賜りますよう心よりお願いし、年頭のご挨拶といたします。

1月号主な内容

- 1面
 - ・年頭のご挨拶
- 2面
 - ・野瀬清名名誉教授が瑞宝中綬章を受章
 - ・今村知世准教授が日本医療薬学会学術賞を受賞
 - ・工藤進英センター長ら3名が日本医用画像工学会功績賞を受賞
 - ・濵谷勲兼任講師と高見正道教授が学会賞を受賞
 - ・瀧田和幸講師らの研究成果が「ANTI-CANCER RESEARCH」に掲載
 - ・漢方・生薬研究会の横田明さん、渡辺佳愛子さんに日本生薬学会から感謝状が贈呈
- 3面
 - ・薬学研究所川村ひとみさんがSP賞を受賞
 - ・薬学研究所富塚祐希さんと落合翔さんが受賞
 - ・薬学研究所黒瀬アン里さんらの研究論文がHighlighted Paper selected by Editor-in-Chiefに選定
 - ・就任のお知らせ
 - ・昭和大学リカレントカレッジ春期プログラム申込開始
 - ・昭和大学サポート寄付金寄付者氏名
- 4面
 - ・富士吉田キャンパス祭
 - ・馬術部が各選手権で全勝優勝
 - ・冬の夜キャンパス彩るイルミネーション
 - ・学生クラブの歴史紹介展

【問合せ先】

【本紙について：総務課大学広報係】
03-3784-8059
press@ofc.showa-u.ac.jp

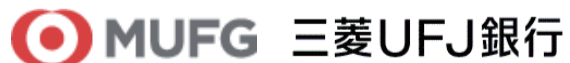
【各種募金・寄付について：企画課】
03-3784-8387

【学事について：学務課、大学院課、入学支援課】
03-3784-8022 (旗の台)
0555-22-4403 (富士吉田)
045-985-6503 (横浜)
03-3784-8026 (入学支援課)



健康応援オーケストラ 株式会社 メディセオ

東京本社/〒104-8464 東京都中央区八重洲二丁目7番15号 TEL/03 (3517) 5050 (代)
URL/http://www.mediceo.co.jp



保険・資産運用・住宅ローン等のご相談は
各最寄の店舗までお気軽にご相談下さい。

長原支店	TEL:03-3720-0171
横浜藤が丘支店	TEL:045-982-7545
港北ニュータウン支店	TEL:045-941-1512
深川支店	TEL:03-3641-8301
烏山支店	TEL:03-3307-3613

野瀬清名誉教授が瑞宝中綬章を受章

令和3年秋の叙勲受章者が11月3日に発表され、野瀬清名誉教授が瑞宝中綬章を受章した。

野瀬名誉教授は、平成4年5月に昭和大学薬学部微生物薬品化学講座(現・薬学部基礎薬学講座腫瘍細胞生物学部門)教授に就任し、平成15年4月から平成19年3月まで、本学薬学部長ならびに理事を務めた。この間、薬学部長として教育・研究施設の拡充をはじめ、学部運営に尽力されるとともに、教授として薬学の教育・研究に力を注ぎ、数多くの業績を挙げ、後進の育成にも貢献した功績が評価され、このたびの受章となった。

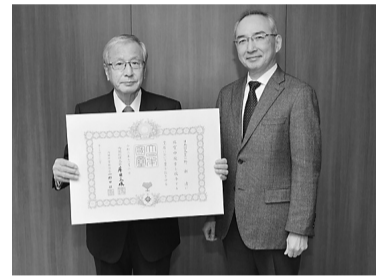
コロナ禍のために昨年同様、伝達式と皇居での拜謁が中止となり、11月24日、旗の台キャンパスにおいて、

中村明弘薬学部長より勲章が伝達された。

【野瀬名誉教授の「コメント」】

思いがけずに今回勲章を頂き、昭和大学において思う存分に教育・研究活動を行わせて頂いたお陰と感謝しています。退職したのもう14年前になります。が、卒業生がそれぞれ

の分野で活躍しているのを拝見することが最大の楽しみです。昭和大学の益々の発展を祈念いたします。



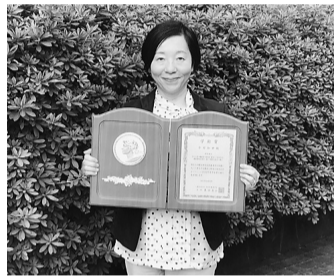
左から野瀬清名誉教授、中村明弘薬学部長

今村知世准教授が日本医療薬学会学術賞を受賞

今村知世准教授(先端がん治療研究所)が2021年度日本医療薬学会学術賞を受賞した。

日本医療薬学会は、医療薬学の進歩及び普及を図ることで我が国の学術文化の発展と国民の福祉の向上に寄与することを目的に、前身の日本病院薬学会として1990年に設立され、2001年に現名称へと変更された。会員数は約13,400名で、その構成は病院・保険薬局の薬剤師、薬科大学教員・学生、製薬企業関係者等多岐にわたり、日本の医療薬学領域を代表する学会として位置づけられている。また同学会は、医療薬学専門薬剤師、がん専門薬剤師等の認定制度を有しており、今村准教授は医療薬学専門薬剤師、医療薬学指導薬剤師、がん指導薬剤師を取得している。

同学会学術賞は、医療薬学分野において優れた研究業績を挙げ、医療薬学の発展に貢献している学会員を表彰するもので、今村准教授は研究主題「抗がん薬の曝露量と有効性/毒性との相関研究と曝露量規定因子に基づく個別化投与の確立」が高く評価され、同賞に選出された。



今村知世准教授

工藤進英センター長ら3名が日本医用画像工学会功績賞を受賞

工藤進英センター長(横浜市北部病院消化器センター)、森悠一講師(同)、三澤将史講師(同)が、第40回日本医用画像工学会大会にて日本医用画像工学会功績賞を受賞した。

日本医用画像工学会は、医用画像工学に関連する研究の連絡提携を図ることにより、学術の発展と人類の福祉に寄与することを目的として1978年に設立された。

工藤センター長らは、人工知能を用いた内視鏡診断支援システムの開発において医用画像工学に多大な貢献をしたとして、森健策教授(名古屋大学大学院情報科学研究科)、須貝昌弘氏(サイバネットシステム株式会社)とともに、同賞に選出された。



左から森教授(名古屋大学)、工藤進英センター長、三澤将史講師、須貝氏(サイバネットシステム)

高見正道教授が学会賞を受賞

澁谷勲兼任講師(歯学部口腔生化学講座・帝京大学医学部准教授)と高見正道教授(歯学部歯科薬理学講座・薬理科学研究センター)が第29回硬組織再生生物学学会学術大会・総会において、骨巨細胞腫の研究により最高位の学会賞を受賞した。

骨巨細胞腫は、腫瘍内部に発生した多核巨細胞が骨を吸収・破壊する疾患であり、日本での年間発症数は数百人程度と推定される。澁谷兼任講師と高見教授は、腫瘍細胞における原因遺伝子の変異や腫瘍内で産生されるタンパク質の種類を解析し、骨巨細胞腫の発生メカニズムを明らかにした。その成果が高く評価され同賞に選定された。



左から澁谷勲兼任講師、高見正道教授

っているが、今回は新企画として、6つの大学の薬学部から漢方系の研究会が集まり、一つのテーマで発表、議論する試みが行われた。その中で、横田さんと渡辺さんは昭和大学を代表して自ら考えたテーマで、一般の方にもわかりやすく、スパイス利用の実例などを含めて発表した。

濱田和幸講師らの研究成果が『ANTICANCER RESEARCH』に掲載

濱田和幸講師(医学部内科学講座腫瘍内科学部門)、角田卓也教授(同)、吉村清教授(臨床薬理研究所臨床免疫腫瘍学部門)らは、非小細胞肺癌の患者さんに抗PD-1抗体療法を開始する21日前から開始後21日の間に抗生物質を投与すると全生存期間及び無増悪生存期間が統計学的に有意に短くなる研究結果を『ANTICANCER RESEARCH』10月号に発表した。同誌から10月号の『Spot Highlight』に選ばれホームページに掲載された。



濱田和幸講師

漢方・生薬研究会の

横田萌さん、渡辺佳愛子さんに

日本生薬学会から感謝状が贈呈

学生のクラブ活動である漢方・生薬研究会の横田萌さん(薬学部2年)、渡辺佳愛子さん(同)が、日本生薬学会第67回年会(WEB開催)の市民公開講座「身近な薬草・漢方の役立つ知識」コロナ禍の中、学生と漢方、生薬について考える「で「スパイスに使う生薬」をテーマに発表し、同学会から感謝状が贈呈された。

日本生薬学会は生薬・天然物や漢方に関する薬学系学会として最も古く、規模の大きな学会の一つ。年会では毎回、市民講座として一般向けの講演会を行な



左から川添和義教授(漢方・生薬研究会顧問)、渡辺佳愛子さん、横田萌さん、砂川正隆教授(同)

医学堂書店

品川区 旗の台 電話(03) 3783-9774

昭和大学 富士の天然水 mineral water

多摩美術大学の学生が制作したデザインを採用しました。 販売者: 昭友商事(株) 03-3784-8280

as human, for human PARAMOUNT BED

最先端の技術で医療の明日に貢献します。

パラマウントベッド http://www.paramount.co.jp フリーダイヤル 0120-03-3648

就任のお知らせ (12月14日 理事会承認)

特任教授 下司 映一
現: 保健医療学部長、保健医療学部看護学科教授
(勤務地: 長津田校舎)
選考理由: IRおよび新学科準備のため
任期: 令和4年4月1日~令和5年3月31日

特任教授 平井 康昭
現: 富士吉田教育部 教授
(勤務地: 富士吉田校舎)
選考理由: 富士吉田自然教育園長のため
任期: 令和4年4月1日~令和5年3月31日

特任教授 中村 清吾
現: 医学部外科学講座(乳腺外科学部門)担当 教授
(勤務地: 昭和大学病院乳腺外科)
選考理由: 昭和大学病院プレストセンター長および臨床ゲノム研究所長のため
任期: 令和4年4月1日~令和5年3月31日

特任教授 福成 信博
現: 医学部外科学講座(消化器一般外科学部門)担当 教授
(勤務地: 昭和大学横浜市北部病院消化器外科)
選考理由: 昭和大学横浜市北部病院甲状腺センター長のため
任期: 令和4年4月1日~令和5年3月31日

医学部内科学講座(脳神経内科学部門)担当 教授
昭和大学病院附属東病院脳神経内科 診療科長
村上 秀友
現: 東京慈恵会医科大学医学部内科学講座 脳神経内科 教授
任命日: 割愛日

医学部外科学講座(心臓血管外科部門)担当 教授
(勤務地: 昭和大学横浜市北部病院循環器センター(心臓血管外科))
奥山 浩
前: 医学部外科学講座(心臓血管外科部門)担当 教授(員外)
(勤務地: 昭和大学横浜市北部病院循環器センター(心臓血管外科))
任命日: 令和4年1月1日

医学部外科学講座(消化器一般外科学部門)担当 教授(員外)
(勤務地: 昭和大学病院食道がんセンター、昭和大学江東豊洲病院食道がんセンター)
大塚 耕司
前: 医学部外科学講座(消化器一般外科学部門)担当 准教授
(勤務地: 昭和大学病院食道がんセンター)
任命日: 令和4年1月1日

歯学部長(再任)
榎 宏太郎
現: 歯学部歯科矯正学講座担当 教授
任期: 令和4年4月1日~令和5年3月31日

薬学部長(再任)
中村 明弘
現: 薬学部基礎医療薬学講座(薬剤学部門)担当 教授
任期: 令和4年4月1日~令和7年3月31日

薬学研究科長(再任)
野部 浩司
現: 薬学部基礎医療薬学講座(薬理学部門)担当 教授
任期: 令和4年4月1日~令和7年3月31日

医学部学生部長(再任)
砂川 正隆
現: 医学部生理学講座(生体制御学部門)担当 教授
任期: 令和4年4月1日~令和6年3月31日

歯学部学生部長
野中 直子
現: 歯学部口腔解剖学講座担当 教授
任期: 令和4年4月1日~令和6年3月31日

薬学部学生部長
原 俊太郎
現: 薬学部社会健康薬学講座(衛生薬学部門)担当 教授
任期: 令和4年4月1日~令和6年3月31日

保健医療学部学生部長(再任)
加賀谷 善教
現: 保健医療学部理学療法学科 教授
任期: 令和4年4月1日~令和6年3月31日

富士吉田教育部学生部長(再任)
堀川 浩之
現: 富士吉田教育部 教授
任期: 令和4年4月1日~令和6年3月31日

総合情報管理センター長
中村 明央
現: 総合情報管理センター 副センター長
任期: 令和4年4月1日~令和6年3月31日

※特任教授(継続) 任期: 令和4年4月1日~令和5年3月31日
小出 良平 加藤 進昌 三邊 武幸 工藤 進英 小林 真一
高橋 寛 鈴木 隆 市川 幾恵 小口江美子 小林 洋一
佐野 俊二 加賀美芳和 大久保文雄 九島 巳樹 宮崎 隆
岡本健一郎 富田 英 佐々木忠徳 瀧本 雅文 米良 仁志
門倉 光隆 寺田 友昭 楯 玄秀 村上 雅彦 鈴木 尚志
長谷川 真

昭和大学リカレントカレッジ 春期プログラム申込開始

1月11日より、春期プログラムの受講生募集を開始しました。全25講座を取り揃えた春期プログラムでは、オンライン講義や対面とオンラインを併用したハイブリッド講義もあり、ライフスタイルに合わせての受講が可能となっています。資料請求・講座申し込みはリカレントカレッジホームページをご覧ください。

※問い合わせ 昭和大学リカレントカレッジ事務室(03-3784-8143)
リカレントカレッジでは講師を募集しています。同窓生も講師として活躍中です。
次号では、4月開講のプログラムを紹介します。



川村ひとみさん(薬学研究科社会薬学3年)が日本社会薬学会第39年会でSP賞(Social Pharmacy賞)を受賞した。
同学会は、医薬品をはじめとする生活関連物質と人間の健康との社会的ななかかわりの中で、総合的に研究・教育を発展させることにより、人間の生命と健康の維持・増進に寄与することを目的に1982年に設立された。SP賞は、社会薬学の分野において独創的な新しい知見または方向性を表すものである。



左から川村ひとみさん、岸本桂子教授

薬学研究科 川村ひとみさんがSP賞を受賞
— 日本社会薬学会第39年会 —

川村さんは演題「子供に抗菌薬が処方されなかったことへ納得できない母親の思いに影響する要因の検討」の発表が高く評価され、同賞に選定された。

フォーラム2021... 衛生薬学・環境トキシコロジー
生薬学・環境トキシコロジーで、冨塚祐希さんが実行委員長賞、落合翔さんが受賞委員賞、落合翔さんが実務部長賞、同4年/現・薬学部社会健康薬学講座衛生薬学部門助教が日韓次世代ポスターセッションのベストポスター賞を受賞した。
同フォーラムは、日本薬学会の環境・衛生部会による学術年会で、疾病予防や健康維持・増進に関する学術・研究の推進を目標とし

冨塚さんは演題「P-lacO誘発性肺障害における長鎖アシルCoA合成酵素4の役割の解析」、落合さんは演題「Prostacyclin exacerbat



左から冨塚祐希さん、原俊太郎教授、落合翔さん

ている。同部会は韓国薬学会との交流を積極的に重ねており、その交流活動の一環として、日韓の若手研究者による日韓次世代ポスターセッションをフォーラム内で実施している。
Induced hemorrhagic cystitisが評価され、それぞれの賞に選定された。

薬学研究科 冨塚祐希さんと落合翔さんが受賞
フォーラム2021... 衛生薬学・環境トキシコロジー

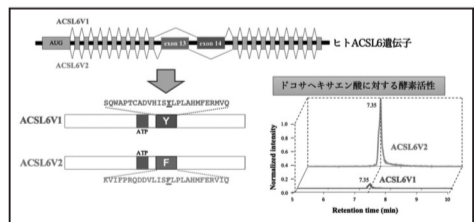
薬学研究科 黒瀧アン里さんの研究論文がHighlighted Paper selected by Editor-in-Chiefに選定

黒瀧アン里さん(論文執筆当時: 薬学研究科衛生薬学4年 / 現: 薬学部病院薬剤学部門助教)、桑田浩准教授(薬学部社会健康薬学講座衛生薬学部門)、原俊太郎教授(同)の研究論文が、日本薬学会の学術誌「Biological and Pharmaceutical Bulletin」2021年44巻10号(2021年10月1日発行)の「Highlighted Paper selected by Editor-in-Chief」に選ばれ、本研究の概要を示すイラストが同号の表紙を飾った。

本研究論文は、体内の脂質代謝を担う長鎖アシルCoA合成酵素6(ACSL6)の基質特異性を解析したもので、ACSL6の多数存在する分子種(バリエーション)のうち、ACSL6V1がリノレン酸を、V2がドコサヘキサエン酸を良い基質とすることを明らかにした。

論文名: Substrate specificity of human long-chain acyl-CoA synthetase ACSL6 variants. (ヒト長鎖アシルCoA合成酵素ACSL6分子種の基質特異性)

著者名: Anri Kurotaki, Hiroshi Kuwata, Shuntaro Hara.
(黒瀧アン里、桑田浩、原俊太郎)



研究概要を示したイラスト

昭和大学サポート寄付制度にご協力いただいた方

- 昭和大学薬学・研究奨励基金への寄付
【同窓】横山 幹彦様(医学部・46回生) 【職員】鶴飼 直紀様
昭和大学藤が丘病院への寄付
【同窓】横山 幹彦様(医学部・46回生)
病院建設・運営維持への寄付
【一般】三協立山株式会社様

富士吉田キャンパス 寮祭

11月20日(土)・21日(日)の2日間、富士吉田キャンパスで寮祭が開催された。

今年度のテーマはハワイ語で「Holo i mua」(ホロイムア)。日本語で「前を向いて進んでいこう」という意味を持つ。昨年度はコロナ禍のため中止となったが、今年度は感染状況が落ち着



楽しむ学生たち



バンド演奏



色鮮やかな打ち上げ花火

寮祭の感想

寮祭実行委員長
薬学部 有村 優希

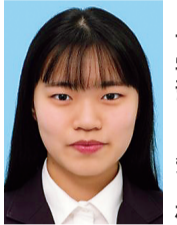


くしてまいりました。新型コロナウイルスに翻弄され、大学の学修も寛東ない中、「前例のない」寮祭を企画している期間は不安でいっぱいでしたが、寮祭実行委員長という役割は私にとってかけがえのない人生経験となりました。

2021年度の寮祭は、6月の体育大会と11月に行われた文化系イベントの寮祭をもって無事幕を下ろしました。委員会発足から約7ヶ月間、寮生一人ひとりにとって、どこか一部のシーンでも心に残るような寮祭をつくるために全力を尽

装飾部門長

歯学部 甲矢 桃子



私はなんとなく装飾部門長になろうと思いません。なんとなくではありましたが絶対に印象に残る装飾をする、という気持ちで常にありました。そこでどこに装飾したら学生みんなが楽しめるか、形として残せるかを常に考えました。寮祭中、沢山の学生のSNSの中で自分が考えた装飾が写っている時にはとても達成感がありました。しかしここに来るまで大変なことが多かったのです。企画書通りに進まなくイライラしたり、どこから手を付ければいいのか分からなかったり、当日まで装飾が終わっていないところもありました。もう少し効率良くできなかったのかと自分でも思いましたが、部屋メンや仲の良い部門長、部門員に助けても

後夜祭部門長

医学部 筒井 瑞貴



私は後夜祭の部門長を務めさせていただきました。今年はコロナウイルスの影響で、6月を予定していた寮祭が11月に延期され、長期間に渡り寮祭の準備に勤



取めることができましたと考えています。本当にありがとうございました。

最後にありますが、寮祭の運営に関わってくださいました先生方、ご協力をくださった全ての大学関係者の方々にこの場を借りて、御礼申し上げます。

馬術部が各選手権で全勝優勝

令和3年11月14日、全日本医歯薬学生馬術連盟主催の馬術競技大会である、第73回サムス准将杯争奪戦団体戦、「第26回全日本医歯薬学生馬術障碍飛越選手権」、「第53回全日本医歯薬学生馬術新人戦」が開催され、昭和大学馬術部が全勝優勝を果

たした。特に今年で73回目となる「サムス准将杯争奪戦」は、戦後の医療福祉政策に多大な影響を与えた米陸軍軍医准将(GHQ公衆衛生福祉局長)のクロフォード・F・サムス准将より学生馬術連盟に寄贈された優勝杯を競う伝統ある試合。今年も米陸軍のトニー中佐が見守るなか緊張感のある試合が展開され、昭和大学が見事に優勝杯を勝ち取った。また、同時開催の障碍飛越選手権、「新人戦」においても若い力が台頭し、今後のさらなる活躍が期待される。今回の試合を終え、昭和大学馬術部は年間最優秀校としてベストスクール賞を受賞した。

第73回サムス准将杯争奪戦 団体戦

【団体】優勝：昭和大学 【個人】最優秀選手賞：山本珠里(M4)

第26回全日本医歯薬学生障碍飛越選手権(平馬杯争奪戦)

優勝：新井 元(M4) 準優勝：山本珠里(M4) 第4位：小山慧明(M6)

第53回全日本医歯薬学生馬術新人戦

【団体】優勝：昭和大学

【個人】優勝：西谷秋星(M3) 準優勝：窪田和孝(M3)

第4位：長谷川采香(P3)

2021年度の年間ベストスクール：昭和大学

2021年度の全日本医歯薬学生・年間ポイントランキング

総合1位：新井 元(M4) 年間ベストライダー

総合2位：山本珠里(M4)

総合5位：小山慧明(M6)

総合7位：坂野李々夏(P3)



サムス准将杯 団体戦優勝：トニー中佐と共に(写真中央)



山本珠里さん(医学部4年：主将)

学生クラブの歴史紹介展

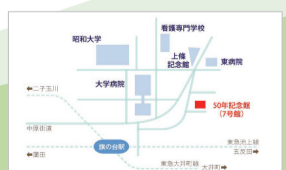
主催：昭和大学上條記念ミュージアム



昭和大学50年記念館(7号館) 1階展示室

第1回企画展 学生クラブの歴史紹介展(アイスホッケー部、MAS、グリークラブ、白馬診療部)は、上條記念ミュージアムから大学50年記念館1階展示室へ移設し、引き続き紹介しています。上條記念ミュージアム共々、皆さまのご来館をお待ちしております。

問合せ：03-03794-9031 museum@cf.showu.ac.jp ※50年記念館は予約なく見学自由です。(9:00~18:00)



旗の台キャンパス



富士吉田キャンパス



横浜キャンパス

冬の夜 キャンパス彩るイルミネーション

11月25日、旗の台キャンパスでイルミネーション点灯式を行った。昨年度はコロナ禍のため中止となったが、今年度は感染対策を講じながら、2年ぶりの開催となった。学生代表3名がカウントダウンに合わせて点灯ス

タイルを凝らしたイルミネーションでキャンパスが彩られた。11月19日に富士吉田キャンパス、12月1日に横浜キャンパスでも点灯式を行い、今年も趣向を凝らしたイルミネーションでキャンパスが彩られた。